

町の農畜産業の発展に寄与する バイオマス発電

沖縄県八重瀬町役場

取組のポイント

1

家畜ふん尿を発電に活用
して処理経費を節減する
とともに、売電収入の一部を
堆肥の販売価格に還元して
営農の経費を節減

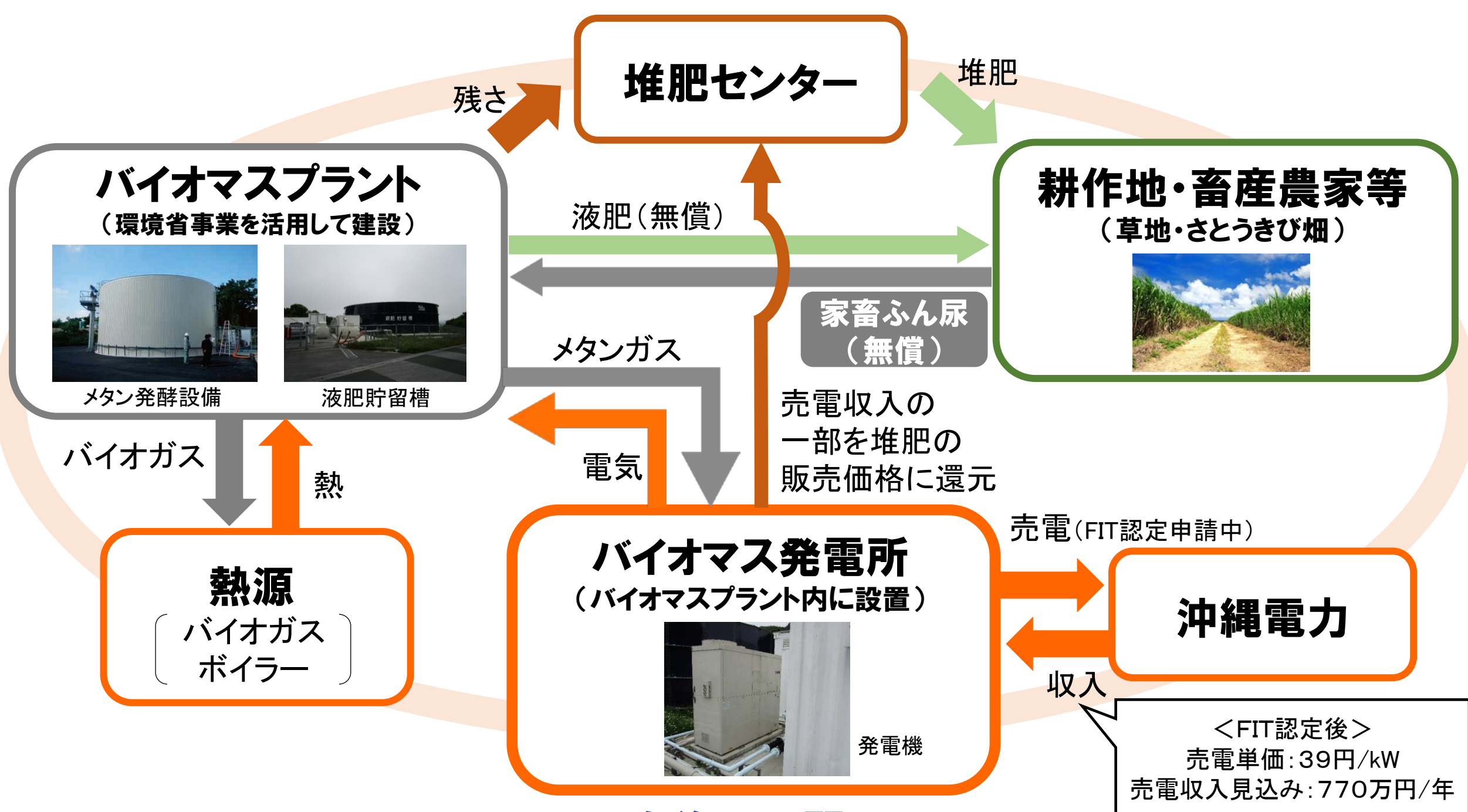
2

プラントから出る残さを
堆肥にし、液肥とともに
農地に還元して
環境保全型農業に努める

3

農山漁村再エネ法の
基本計画に位置づけ、売
電収入をプラントの運営
費用に活用する等、地域の
農林漁業の発展に寄与

事業スキーム



今後の展開

- ✓ 農山漁村再エネ法の基本計画に位置づける (平成30年3月頃を予定)
- ✓ バイオマス発電について、現在の25kWから50kWに拡大することを目指す
- ✓ 地域のバイオマスの状況等を踏まえ、さらなる発電設備の建設に取り組む

バイオマス発電所の概要

- ・発電事業者／八重瀬町堆肥センター
- ・施設名称／八重瀬町地域循環型バイオガスシステム
- ・所在地／沖縄県島尻郡八重瀬町富盛1615-1
- ・発電規模／25kW
- ・年間発電量／約20万kWh
- ・使用燃料／メタンガス
- ・売電開始／平成30年からの予定



お問合せ先 沖縄県八重瀬町役場

TEL 098-998-4624